

ふたば草の会 だより



園

福寿草の会
愛川町介護者の会
第150号
平成31年 3月5日
連絡先 愛川町社会福祉協議会
Tel 046 (285) 2111

今年は、雪のない、暖かな冬で助かりましたね。
けれどもインフルエンザや長引く風邪などに悩まされた方もいらっしゃったのではないのでしょうか。

身体の不調は、体験しないとわからない、と、確かに介護される側の気持ち、は推しはかるしかありません。加齢と共に、少しずつ、わかるようになってきましたが。

最近テレビのドキュメンタリーで、末期ガンの父を在宅で看取った娘さんのことを見ました。全盲の娘さんの、父親に話しかける“声”が、ふくいくと思えるほどに、暖かく、優しく、目をつぶって、聴きほれてしまいました。



3月のつどいは親睦会です

26日(火) 第4火曜日です。おまちがえないよう、カレンダーに印を!

11時半に下川入睦合ホーム内慈光庵前(桜庵となり)集合

場所のわからない方には、申し込み時にお知らせします。車の乗り合わせで行きますので、時間、乗車場所なども、お伝えします。

▷ 会費 700円(当日集めます)

▷ 内容 慈光庵にて、おいしい昼食をいただき、懇談。来年度の活動の希望などもお聞かせ下さい。

その後、近くにできたばかりのあつき郷土博物館を見学します。午後2時~3時ころ

▷ 申し込み 3月19日までに、役員か小沼 (TEL 285-4166) まで。

桜の花が咲いていると良いですね。大ぜいの方の参加を、お待ちしております。

これからのつどいでは 昼食をみんなで食べましょう

1月のつどいでは、12時半に集まって、500円の自己負担でお弁当(市販のもの)を食べながら、おしゃべりをして、よりなごやかなつどいを持ってました。これからは、このスタイルで、進めたいと思います。

1月のつどいから 22日 (会員 13名¹⁵新しい方1名) 地域包括 落合看護師)

なごやかに昼食をとった後、お一人お一人の近況報告です。
昨年にご主人を亡くされた方が 3人いらっしゃいました。

いなくなった、と思いたくない気持ち。
(遺影に)話しかけているが、さみしさが
いっぱい。どう対応して良いかわからない。
<6月にご主人を看取る>

“頭の中に虫がいはいつまっている”と言
われたころは、つらかった。本人も、つらか
ったろう。11年4月の介護。別れの覚悟
はできていた。亡くなった後は泣けなかつ
た。ここから泣ける。
<12月にご主人を看取る>

四十九日に夢枕に出てきて、アルバムを
見ていたり、自分の部屋で友だちと酒
を飲んでいたり。夫が家にいるんだ、と
ホッとしたり。気持ちがふっきれた。
<10月にご主人を看取る>

一人暮らしの緊張感がいつもある。
さみしい。話すこと、で、ラクになった
し、知識も広がる。自分を大事にして。
<3年前にご主人を看取る>

不安が大きく、常に胸がドキドキしたり、胸
が痛い。でも、皆さんのお話を聞いていると、
少しラクになった。
<ご主人が入院中>

姉を介護。去年つまずいて、寝たきりに
入院中。父親も高齢で困っている。
<50代女性・初参加>

そして、移送サービス(愛川お助け便)と、介護タクシーの話題が出ました。

愛川お助け便については、下記参考にして下さい。

介護タクシーについても専門の教育を受けて仕事をしているので、一概に高額だと敬遠しないで、との指摘もありました。

住民参加型送迎サービス 愛川お助け便<愛川町社協>

虚弱な高齢者を対象とした福祉有償運送事業です。利用する方は、事前の登録が必要で、

<利用会員として登録できる方>

愛川町に住所があり、家族による送迎や公共機関等の利用が困難で虚弱な方で、次のいずれかに該当する方

- ・身体障害、肢体不自由、内部障害、知的障害、精神障害などの障害を有する方
- ・介護保険で、要支援・要介護認定を受けている方

★担当職員が訪問し、身体状況の確認などを行います。

ご相談、申し込み、お問い合わせは社会福祉協議会まで TEL 285-2111